



岐阜大学国際交流

NEWS Letter

For International Exchange
Gifu University

March 2022

52

学んで楽しくないか？ 茂木健一郎先生と考える 「Ph.D.の専門性」&「これからの日本社会」

10月11日



ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャーの茂木健一郎先生、森脇久隆学長及び工学部 久米徹二教授による鼎談を対面及びオンラインで開催しました。本鼎談では、現在の博士学位取得者を取り巻く日本及び世界の状況や、研究職のやりがいと魅力等、講演者自身の経験を交えながら話し合われ、聴講者からも活発な質問がありました。

鼎談の最後に、茂木先生から本学学生に向け、「学問の世界は全てがつながっており、研究者一人ひとりが「何をやるか」がすべて。研究の世界は無限に広がっており、その入り口の一つが岐阜大学。ぜひ博士の学位取得を目指してほしい。」と温かい応援の言葉が贈られました。

聴講者からは、博士課程に対するイメージが前向きなものになったとの意見が多数あり、本鼎談が、改めて博士課程の魅力を知る場となったことがうかがわれました。



岐阜ジョイント・ディグリーシンポジウム2021

12月9日・10日

本年度で3回目となる岐阜ジョイント・ディグリーシンポジウムを、東海国立大学機構及び本学グローバル推進機構とで開催しました。本シンポジウムは、東海国立大学機構JDP*シンポジウム(以下、THERS JDPシンポジウム)、学術セッション、産官学金連携セッションの3部で構成され、オンライン及び一部対面で行われました。THERS JDPシンポジウムでは、岸本織江文部科学省高等教育局高等教育国際戦略プロジェクトチームリーダーによる「ニューノーマル時代の国際教育交流」と題した基調講演が行われ、JDPについて理解を深める有意義な機会となりました。

*JDP: ジョイント・ディグリープログラム(国際連携専攻)



全国大学JDP協議会が発足します

全国の大学におけるジョイント・ディグリープログラム(JDP)に係る運用に関する課題の改善、活用の方策の検討、今後の展望についての検討、情報の共有、文部科学省に対する意見・要望等のとりまとめ・提言及びジョイント・ディグリープログラムの設置を検討・予定している大学への助言等の支援を目的に、2022年4月、全国大学JDP協議会が発足します。本学は本協議会会長校として、高等教育の国際化の促進と更なる発展に貢献していきます。

Collaborative Video Making Program (CVMP)

8月~11月



本学(8名)、インド工科大学グワハティ校(4名)およびマレーシア国民大学(4名)の学生が4つのグループに分かれ、協働で動画を制作する国際交流活動CVMPを、8月から4か月間にわたり実施しました。参加者は、オンラインで連絡を取りながら、各大学の学生生活の魅力の一つの動画作品に仕上げました。実施後の参加者のアンケートでは、英会話力が上がった、かけがえのない友人が海外にできた、動画撮影技術が上がった等の感想があり、実りあるプログラムであったことがうかがえました。各グループの作品はGU-Channelで配信されています。



海外渡航への道しるべ

11月24日

留学再開を期待している学生に向け、海外での危機管理及び本学の留学プログラムに関する情報を提供する「海外渡航への道しるべ」をオンラインにて開催しました。前半は、海外渡航に向けた健康管理や医療的準備について、本学保健管理センターの山本真由美センター長より説明がありました。続く後半は、昨今の留学事情及び留学先での性暴力について、本学地域科学部の堀江未央助教より注意喚起がありました。本イベントの様子は、動画でも配信されています。



海外で学ぶ



工学部
梶村 奈々未

グリフィス大学
オンライン
ESL*プログラム



オーストラリア

コロナ禍の留学

私がオンライン留学に挑戦した理由は、コロナ禍でも留学を諦めたくないと思ったからです。大学在学中に留学することを以前から考えていましたが、感染症により実際に渡航する留学が難しい状況となってしまいました。しかし、このままただ待ってはいく多くの時間と機会を失うのではないかと、大学一年生を過ごす中で思いました。実際にこのプログラムを体験すると、オンライン形式であっても、さまざまな価値観に触れたり、英語学習に対する考え方を学べたりと、大学では得ることのできない貴重な経験ができたと感じています。

*ESL: English as a Second Language



留学生の地域交流

本学は、留学生が地域の方との交流を通じて、日本文化をより深く知ることを目的に、岐阜県内外の国際交流団体・学校等と連携し、様々な国際交流活動を実施しています。



岐阜市国際交流協会主催のオンラインホームビジットでは、9名の留学生が市内の9家庭とそれぞれ交流を楽しみました。ホストファミリーは、鵜飼や岐阜城、アニメ等を紹介した画像や動画を準備し、留学生の異文化理解の手助けをしました。留学生は、新しい出会いを喜ぶと共に、ホストファミリーの温かいもてなしに感謝の意を伝えました。



郡上市職員特別研修(観光立市郡上異文化コミュニケーション研修)オンライン交流会では、日本語・日本文化教育センターで学ぶ4名の学生が、郡上市職員と、郡上の魅力や自分たちが日本語を学ぶ理由、興味のある日本のこと等について話し、交流を深めました。

11月27・28日
岐阜市国際交流協会主催オンラインホームビジット

12月15日
一宮市国際交流協会とのオンライン交流会

2022年1月27日
郡上市職員特別研修(観光立市郡上異文化コミュニケーション研修)オンライン交流会

2022年2月24日
大垣市立日新小学校とのオンライン交流会

留学生就職促進プログラム

本学は平成29年度～令和3年度の5年間、留学生の日本での就職支援を行うために設立された愛岐留学生就職支援コンソーシアム(愛岐コンソ)に参画し、留学生就職促進プログラムに取り組みました。愛岐コンソの県内メンバーである岐阜県、岐阜県経営者協会及びジェトロ岐阜と連携した取り組み「岐阜地区ワークショップ」をはじめ、各種イベントを開催し、企業との交流を図るほか、日本の就職活動の仕組み等を学ぶキャリア教育、地元企業に就職した元留学生との交流会等、体験活動や学びの場、個別相談を通じて、キャリアイメージを鮮明にすることで、高いモチベーションで就職活動ができるよう支援を行いました。



令和3年度愛岐留学生就職促進コンソーシアム岐阜地区ワークショップの様子(10月27日)

第20回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会

12月4日

中部学院大学(各務原市)で開催された本弁論大会において、本学から出場した3名の留学生のうち、2名が最優秀賞と優秀賞をそれぞれ受賞し、関係者一同で喜びを分かち合いました。本年度は新たにYouTubeでライブ配信が行われ、4ヶ国からの留学生9名は、日頃の努力の成果を存分に発揮し、審査員からの質問にも精力的に対応しました。



岐阜大学で学ぶ



自然科学技術研究科
ティアラ・セリン・
エスタビロ・スアレス



フィリピン

岐阜大学—日本の文化を学び体験する地

私の来日は、マリアノ・マルコス州立大学と岐阜大学の学術交流協定によって実現しました。この協定による交換留学生となり、様々な面で恩恵を受けています。

大学院で研究を深め、世界レベルの研究室で指導を受けています。さらに、多くの知識を得ると共に研究技術を習得しています。これらは、フィリピンに帰国後も大いに役立ちます。また、将来、海外の研究者と共同研究を行うために親交を深めています。日本の文化、そして園芸学研究室の家族同然となった新しい仲間との毎日を楽しんでいます。





グローバル化のためのSDGs勉強会



大学が持つ国際的な人・情報・ネットワークを活用し、本学関係者が地域の方々とともに学び、岐阜県および東海地域の「グローバル化」の推進を目指す「グローバル化のためのSDGs勉強会」をオンラインで全11回開催しました。脱炭素社会の実現に向けた、機械・エネルギー分野、食品科学技術分野、バイオマス・農業分野の取り組みを中心に、様々なテーマで実施しました。

第1回 4月23日[金]	国連が推進する3Rs	国際連合地域開発センター 酒井紀子 環境ユニット研究員
第2回 5月28日[金]	SDGsの達成に貢献するバイオエコノミー ～人新世における企業の在り方～	一般財団法人バイオインダストリー協会 日本バイオ産業人会議事務局 坂元雄二 事務局長
第3回 6月25日[金]	太陽電池技術の現状	岐阜大学工学部 伊藤貴司 教授
第4回 7月16日[金]	フィンテックによる新興国農業スタートアップ	株式会社ロングターム・インダストリアル・ディベロップメント 谷口泰夫 代表取締役
第5回 9月24日[金]	未利用野菜・果物の有効活用 ～食物繊維の未知なる機能～	岐阜大学応用生物科学部 矢部富雄 教授
第6回 10月22日[金]	フードチェーンシステムの高度化による フードロス削減	九州大学農学研究院 田中史彦 教授
第7回 11月26日[金]	将来の脱炭素社会への急変革を見据えて、 過去の技術革新を振り返る(自動車排気ガス規制)	岐阜大学グローバル推進機構 三輪真一 特任教授
第8回 12月24日[金]	SDGsと国際協力	株式会社レックスインターナショナル 農業・農村開発グループ 今泉俊輔 コンサルタント
第9回 1月21日[金]	SDGsと日本語教育	NPO法人多文化共生リソースセンター東海 土井佳彦 代表理事 一般社団法人グローバル愛知事務局 橋詰翠 日本語教育担当
第10回 2月18日[金]	ブルーアンモニアによるCO ₂ フリー発電システムの開発	岐阜大学工学部 神原信志 教授
第11回 3月18日[金]	SDGs勉強会年間レビュー & 提言	岐阜大学グローバル推進機構 小山博之 副機構長、地域国際化推進部門長 岐阜大学グローバル推進機構 三輪真一 特任教授 岐阜大学グローバル推進機構 栗田大輔 客員教授



国際月間

10月

本学の国際化を促進するため、本年度10月を「国際月間」と位置づけ、国際交流イベントを開催しました。English Circle of Friendsでは、外国人留学生と日本人学生が、夏休みの思い出や行楽の秋、ハロウィン等をテーマに、英語での会話をとおしたコミュニケーションを楽しみました。



10月

- 1～31日 学長からのメッセージ配信
- 11日 茂木健一郎氏講演会(表紙)
- 13・27日 English Circle of Friends
- 27日 岐阜地区ワークショップ(3ページ)



アルバータ大学オンライン研修「英語による授業の実践」

9月8日～30日



アルバータ大学(カナダ)が提供する、「英語による授業の実践」に関する研修を、本学教員がオンラインにて受講しました。本研修では、学生主体の学びに必要な技術や、英語を母国語としない教員が英語で講義を行う際の要諦、発音手法、学習活動の設計法や評価法等が教授されました。受講後、参加者からは「オンライン授業で役立つツールを知れた」、「学生参加型の授業の重要性を改めて認識した」、「模擬授業のフィードバックが役に立った」等の感想が聞かれました。



駐日リトアニア共和国

臨時代理大使が学長表敬

11月5日



アルギマンタス・ミセヴィチウス駐日リトアニア共和国臨時代理大使が本学を訪問しました。本学は、同国カウナス工科大学及びヴィータウタス・マグナス大学と学術交流協定を締結しており、深い友好関係を築いています。学長表敬後、ミセヴィチウス氏は本学学生との交流会に参加し、氏による講演や学生との質疑応答が行われました。

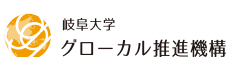


第7回 International Conference on Climate Change 2021

11月18日



学術交流協定大学であるスプラズ・マレット大学(インドネシア)と、第7回 International Conference on Climate Change 2021(以下、ICCC)をオンラインにて共催しました。ICCCは、気候変動が人間生活や環境問題に与える影響をモニタリングし、改善する努力を継続して行っています。本年度2回目となる本会議では、総勢270名の参加者が、「Can Vaccine Protect Us Against Climate Change?」をテーマに感染症、ワクチン、環境、農業、法律、社会、経済、文化等、様々な視点から気候変動に関する課題を議論しました。



岐阜大学
グローバル推進機構
編集・発行：岐阜大学グローバル推進機構 E-mail : kokusaik@gifu-u.ac.jp
事務局：岐阜大学学務部国際事業課国際総務室(国際交流に関すること)
TEL:058-293-3351 E-mail : int_exch@gifu-u.ac.jp
岐阜大学学務部国際事業課留学支援室(留学に関すること)
TEL:058-293-2137 E-mail : direcent@gifu-u.ac.jp



岐阜大学国際交流 NEWS Letter

<https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/planning/data/newsletter/index.html>



<https://www.youtube.com/channel/UCMJkz04fsx030geNHC-PA>

